



## ED40形式10号電気機関車が 国の重要文化財に指定されました

鉄道博物館 車両ステーション内で収蔵・展示中の「ED40形式10号電気機関車」が、平成30年10月31日付の官報(号外第239号:文部科学省告示第二百八号)により、国の重要文化財に指定されました。

幹線鉄道電化の黎明期において輸送実績をあげ、日本の電気機関車の技術の発展を後世に伝える貴重な車両として、今後とも保存・展示してまいりますので、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### ED40形式10号電気機関車 概要

- 製造年 / 1921(大正10)年
- 製造所 / 鉄道省大宮工場
- 全長 / 約9.8m

信越本線横川～軽井沢間(現在は廃止)の急勾配区間用として製造された、国鉄最初の本線用国産電気機関車。主電動機を2基搭載、1基は動輪用、もう1基はラック台車駆動用とし、動輪についてはジャック軸、主連棒、連結棒を通じて動力を伝える方式となっており、蒸気機関車で培った技術を活用した機関車である。



ED40形式10号電気機関車 車両外観

### 参考：鉄道博物館収蔵の国指定重要文化財

- 1号機関車 (150形式) / 1997 (平成 9) 年指定 / 車両ステーションで展示中
- 鉄道古文書 / 2003 (平成15) 年指定 / 非公開
- 1号御料車 (初代) / 2003 (平成15) 年指定 / 車両ステーションで展示中
- ナデ6110形式電車 / 2017 (平成29) 年指定 / 車両ステーションで展示中
- ED40形式10号電気機関車 / 2018 (平成30) 年指定 / 車両ステーションで展示中

皆さまのご来館をお待ちしております